

紫波ネット10

2002
SHIWA TOWN SINCE 1955

[No.609]



◎おめでとう、そしてありがとうございます
平成14年度
紫波町花いっぱい
コンクール
入賞団体の紹介
63件から選ばれた表彰団体



子どもたちの
「生きる力」が
地域で育つ
《特集》教育振興だより



◎情報掲示板
紫波町男女共同参画フォーラム開催
行政改革推進委員を募集
ITサポートセンター
初心者用講座の日程お知らせ



◎シリーズ第3回
みんなで考えよう
市町村合併
「盛岡都市圏将来
ビジョン」ってなに？



子どもたちの生きる力が 地域で育つ 3

ポイント 学校週5日制となり、各地域で子どもたちと一緒に取り組む活動が始まっている姿をお知らせします。

平成14年度 花いっぱい コンクール入賞団体 8

ポイント 一般花壇の部、学校花壇の部で表彰された団体を紹介し、同ページには5回目を迎える「わたしのオススメこの一冊」も掲載。今回は紫波高校生が登場。

みんなで考えよう 市町村合併 9

ポイント 盛岡市が策定した「盛岡都市圏将来ビジョン」の概略を見ながら、より詳しい情報をお伝えします。

まちの話題 12

ポイント 紫波フルーツの里まつりなど、前月の話題を写真と共に。

情報掲示板 13

ポイント 行政改革推進委員募集など各種情報を掲載。

産直・自慢の逸品 16

ポイント 今回はあづま産直センター。産直自慢の味をご紹介します。

紫波町男女共同 参画フォーラム

参加無料
10/26
午後1時～

心豊かな社会を作るためには、男女が互いにその人権を尊重し、責任も分かち合うことで、対等なパートナーであることを理解する必要があります。

そして性別を問わず社会のあらゆる分野に参画し、個性と能力を充分発揮できる男女共同参画社会を作っていくことが大切です。

このフォーラムは、男女共同参画社会への理解を深め、より良いパートナーシップを築くために開催されます。



内 容

【講演】

男女共同参画へのまなざし ～いままでとこれから

講師 (株)S&M 企画プランニング
代表取締役 村上伸子さん

【ワークショップ】

テーマ

「私たちが作る男女共同参画社会」

【期 日】 10月26日(土)

【時 間】 午後1時～4時15分

【会 場】 中央公民館 研修室

【対 象】 町在住か町内の学校、事務所などに通学、通勤している人

【参加申込】 10月23日(水)までに社会教育課へ申し込み

【その他】 託児を行いますので希望する人はお申し出ください

問合せ・申込 社会教育課 ☎672-3362

〈町長メッセージ〉

次世代を担う子どもたちのために

少子化は社会全体にとって大きな問題であり、憂慮すべきことです。原因は多くありますが、特に社会環境の変化に起因するところが多くあると思われまます。

町でも少子化対策には数々の施策を打出しており、社会の変化に対応すべく全力で取り組んでいます。昨年の出生数は例年より五十人ほど多く、諸施策の効果が出たかに見受けられました。しかし、本年に入つて例年のペースとなり、少子化問題は出生数に一喜一憂することなく息長く対応することこそ大切であると感じられます。

紫波町は環境保全を重視した町づくりを推進し、自然豊かな潤いある紫波の原風景を百年後に残し伝えることを提言しています。そのためには子どもたちに環境保全の大切さを体験を通じてふれ合い、疑問を感じて解決する環境学習の機会を多く持つてほしいと思っています。そのことで環境に関心を抱く子どもが多くなり、それが次代に引き継がれることが、紫波の原風景が引き継がれるものと信じます。

かけがえない子どもたちです。社会全体が見守り、健全に養育すべきであります。「可愛い子には旅をさせよ」と言いますが、子どもを甘やかすことなく大人が善悪を教えられる環境づくりが重要です。

豊かな環境の中で、次代を担う心豊かな子どもたちが育つよう、地域で力を合わせていきたいと思います。

(藤原 孝)



子どもたちの

地域の子どもたちが、どのように育っていったら良いのか——町にはそうしたことを真剣に考え、取り組んでいるたくさんの人たちがいます。そうした人たちはそれだけにとどまらず、グループを作り、ほかの会と連携をとったり融合しながら、活動をふくらませ大きなコミュニケーションの輪を作りつつあります。子どもたちに関わってボランティア活動をしている人は「本当に元氣と喜びをもたらしているのは私たちのほうなの。」と話してくれました。

今回の教育振興だよりではそんな活動を紹介します。

生きる力が地域で育つ

子育て支援ボランティアで初めて赤ちゃんのお世話をする中学生。「あれ、わたしの腕の中で眠っちゃったよ」

教育振興 だより

第21号

教育振興運動とは

五者（子ども、親、教師、地域社会、教育行政）が互いの責任を明確にし、力を合わせて教育の向上に努める運動。

五者の基本目標

- 子どもの学習意欲の高揚
- 家庭教育の振興
- 学校教育の充実
- 地域社会における教育環境の醸成
- 教育条件の整備



「ひよこひろば」誕生から六年、子どもを見つめて、お母さんの癒しとなって百回を迎えます。この夏、中学生が子どもたちのお世話をお手伝いしました。

「ひよこひろば」は、社会と
その中で暮らす親子に目を向
け、親子が集い遊べる場、仲
間づくりの場として地域のボ
ランティアが古館公民館で月
二回行っている活動です。

この夏、「ひよこひろば」で
は新しい企画を実践しました。
中学生をスタッフとして招い
たのです。中学校に希望者を
募ったところ、予想以上に多く、夏休みの班と冬休みの
班に分けることになったほど。七月三十一日、十五人の
生徒が挑戦することになりました。

笑顔で親子を迎える受付、小さな子どもたちのおま
まごとや積み木、ボール遊び、おやつのおからドーナ
ツ作りなどに真剣に取り組んでいました。始めは自信
なげだった生徒たちですが、時の経過とともに自分から
積極的に子どもやスタッフに声をかけ、笑顔さえこぼれ
るほどになっていました。当日、特別参加していた「ひ
よこひろば」のOBや一般ボランティアの人たちも中学
生の働きぶりに感心したようでした。生徒たちからは
「大変だったけど楽しかった」「疲れたけど、またやりた
い」「次は、もっと遊びたい」という声を聞くことができ
ました。

「ひよこひろば」のスタッフはこれから今までの活動を
大切に続けながらも、中学生が力を発揮してくれたこと
から、さらに人と人のつながりを求め、輪を大きく広げ
る活動にも目を向けていきたいと語ってくれました。

中学生が 子育てボランティア を体験

自ら学び、考え、行動する子どもたちに

紫波町教育委員会 教育長 川村秀彦

今年度から完全学校週五日制がスタートし、新しい学習指導要領のもとで総合的な学習が各小・中学校において展開されており、

新しい学習指導要領の内容を一言で表現すると「基礎・基本の確実な定着と、児童・生徒が自ら考え、主体的に行動できる『生きる力』を育成すること」であります。

さて、総合的な学習のねらいは、児童・生徒が自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力を育てることであり、また、学び方や物の考え方を身につけ、問題解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を身につけること等々であります。

学習の具体的な内容については、環境・福祉・健康・国際理解・情報・芸術などの課題や、児童・生徒の興味・関心に基づく課題、あるいは地域や学校の特色に応じた課題などから、各小中学校が適切に定めて実施することになっています。

紫波町の学校では、一人ひとりの児童・生徒の将来を展望し、学校と地域の実態に即した計画のもとで指導を行っています。

これからの指導のポイントとしては、実体験学習の重視であります。特に自然が豊かである町内（地域）で自然体験や社会体験を取り入れた学習が大切です。より多くの人々と心の結びつきを深めながら、これからの学習をする中で、児童・生徒は自分自身の存在を自覚し、生き方をつかむことができるようにしなければなりません。

地域の方々のご理解をいただき、より一層学校と地域が一つになり、郷土への愛着を深める多彩な教育活動の展開が望まれます。ご協力をよろしくお願いいたします。



奏でる喜び、聴く楽しみを実感

Shiwaウィンドアンサンブルは、笹田宣昭先生の指導を受けながら活動している町民で構成された金管楽器のバンドです。町民の皆さんに音楽のプレゼントをしようと、昨年は地区公民館を回って発表活動をしました。今年度は小学校を会場に演奏活動しており赤沢小学校、片寄小学校、上平沢小学校での演奏が決まっています。「親子ふれあいコンサート」という企画ですが、親子だけでなく地域の皆さんにも参加してもらおう演奏会ではおなじみの曲も多く各地で好評です。

学校から地域への発信と、発表の機会を探している町民の皆さんとの融合がここにもありました。



次回は11月7日(木)、午後7時30分から上平沢小学校で開催。どなたでも聴くことができます。

Shiwaウィンドアンサンブルの出前コンサート

大喜びだった小学生

夏休みに赤石小学校で行われた本の読み聞かせ会で紫波第一中学校の生徒六人によるパネルシアターが披露されました。これはボランティアグループ「かくれんぼ」が指導し、紫波第一中学校の総合学習の時間にパネルシアターを創作したのがきっかけです。授業時間だけでは作品を発表する時間がなく、何とか披露させたいと同グループが中学校に呼びかけて実現したものです。作品は「おおきななぶ」「しろいうさぎとくろいうさぎ」というおなじみの絵本二つ。集まった小学生は中学生の発表に大喜びでした。

手作りのパネルシアターを中学生が上演



おやじの出番！十日市まつり



手伝う喜び、共有する楽しみ

地元の手作りのまつり「十日市まつり」では、焼き鳥などの出店で中学生が活躍しています。普段は公園としてひっそりしている広場がこの日は夜おそくまで歌や踊りでにぎわいます。舞台を組んだり、街灯を付けたら、その準備から後片づけまでの力仕事をお父さんたちが頼もしく請け負っています。

地域の皆さんはだれでも、自分のできる事、できる時間を少しずつ智恵を出し合って、色々な方法で探してみると、楽しい宝の時間が見つかるかもしれません。

週五日制がはじまってわたしはこう思う

平日実施の学校行事は再考を

今まで土曜に行われていた学校行事が、週五日制実施後は平日に移行することが多くなりました。これまで学校側では保護者の仕事の都合を考慮してくれましたが、平日となると都合がつかない人も多いのでは。最近では、夫婦で参加する人も多く、良い傾向とあっていただけに残念です。父親の行事への積極的参加と、母親の役員就任はPTAの永遠のテーマです。そういう意味では一歩後退した気がします。それでも私の子どもが通う学校では現在でも土曜に行事をあててくれます。先生の勤務日のやりくりなど大変なことですが、よくやってくると感謝しています。週五日制は教職員にも思わぬ負担をかけているように思われます。(長岡 父親)

「休養」をとる必要性も実感

正直なところ、親も子どもかなり戸惑いを感じています。土曜にスポーツ少年団の試合や社会参加活動などの行事が入るため、役員をやっている親としては仕事を休んで参加しています。たまに土曜日に行事がないときも、子どもは疲れていて午前中は起きられません。時間の使い方を総合的に見直してみることが必要かと思えます。(水分 母親)



大自然の中で学年、学校を越えたふれあい サマーワーク

高校生リーダーからのエール

中学生らしい心を育てて

高校生リーダーとして過ごした二日間は大変でした。二年ほど前、ほくは中学生として参加しました。そのときは集団行動にもなかなか慣れず、いつも指導者の人に怒られてばかりでした。今回は指導者として行動しなければなりませんでした。実際、中学生はほくたちのときと違い真剣に取り組んでくれました。そのことは中学生に感謝したいと思っています。

ほくは、中学生には中学生らしい、いたずら心や遊び心、それから真面目な心を持って欲しいと思っています。

(盛岡第四高等学校一年 藤尾哲生くむ)

指導は難しいが良い経験に

サマーワークに参加することになったとき、どういふ人たちが集まってくるのか、どんな風に活動してくれるのかいろいろ考えていました。一生懸命でしたが、中学生の行動を見守るだけでなく、フォローをしてあげたり、指摘してあげることとは難しいなあと思いました。心残りではありますが、とてもよい経験をしました。

(紫波高等学校三年 長谷川真美さん)

花北商業、一関高専と黒沢尻工業から参加。中学生が活動しやすいように助言や支援をするスタッフとして、戸惑いながらも懸命に役目を果たそうとする姿が見られました。

中学生社会参加活動中堅リーダー研修会「サマーワーク」が七月三十一日と八月二日の二日間、国立岩手山青年の家で行われました。百六人の中学生の体験活動を、十八人の高校生スタッフと十六人の一般スタッフが支えての活動でした。天候に恵まれ、大自然の中で、出会いと協働のドラマがありました。

高校生スタッフは、紫波高、盛岡四高、



平成14年度紫波町花いっぱいコンクール 入賞団体

一般花壇の部

最優秀賞	犬淵第一婦人会
優秀賞	北奥機械株式会社
	丹後公民館
	大志田公民館
努力賞	日詰6区自治公民館
	平沢上通公民館
奨励賞	北上自治公民館
	日詰12区自治公民館
ききょう賞	紫波地域農業管理センター
	志和町第一自治公民館
	平沢中通公民館

学校花壇の部

最優秀賞	赤沢小学校
優秀賞	日詰小学校
	星山小学校
努力賞	片寄小学校
	長岡小学校
奨励賞	赤石小学校

一般花壇の部 最優秀賞 犬淵第一婦人会
サルビアの赤が目を引き国道4号沿いに並ぶプランター



学校花壇の部 最優秀賞 赤沢小学校
昇降口前に咲き誇る花が毎朝児童を迎えます



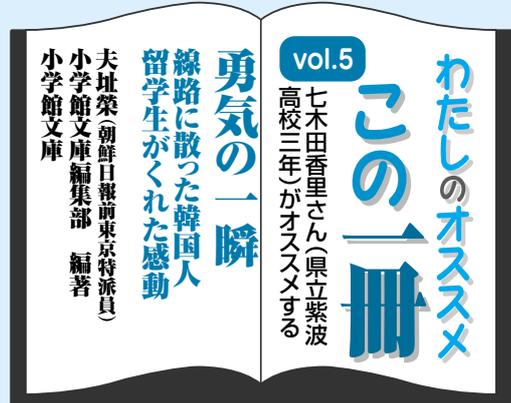
「花いっぱい運動」は、今年も公民館、事業所、公共施設などを中心に町内一円で行われ、各地域の花壇では美しい花が咲きそろう、私たちの生活に潤いをもたらしてくれました。今年度の「花いっぱいコンクール」には、六十三件の応募があり、その審査が八月に行われ

ました。入賞団体は表のとおりです。なお、皆さんにご協力をお願いした花いっぱい運動活動協力金は二五〇万円となり、各自治公民館に配布された花苗の費用に充てられました。ご協力ありがとうございました。



香里さんは図書委員会の副委員長を務める大の本好き。部活は美術部に所属し今は紫波高祭に出席する油絵の仕上げに取りかかっています。

皆さんは覚えていますか。二〇〇一年一月二十六日の新大久保駅で、線路に落ちた酔客を救おうと、二人のかけがえのない命が犠牲になったことを……。その一人、韓国人留学生の李秀賢さんのことを書いた本です。今となつてはこの本を通じてしか、彼に会うことができなくなりました。彼の希望や夢、そして日本への思いが伝わっています。李さんの突如の行動は、何があっても見て見ぬふりをしてやり過ごす日本人が増えていく中で大きな反響を呼びました。自らの命を顧みず人の命を救う勇気は忘れてはならないことだと思えます。今、自分のことしか考えられなくなった多くの日本人、世界中の人たちに読んでほしいと願っています。



2001年4月1日初版の本書は紫波高校図書室に収蔵されています。

みんなで考えよう 市町村合併



「盛岡都市圏将来ビジョン」ってなに？

先の町づくり座談会では、市町村合併の問題について、もっと詳しい情報がほしいとのご意見が寄せられました。今回は、合併協議会と盛岡市が策定した「盛岡都市圏将来ビジョン」について、とりあげます。

合併協議項目の例示

①自治体の存立に関わる基本的な事項

- ・新市の名称
- ・合併の方式（新設合併か編入合併か）
- ・事務所の位置
- ・合併の期日など

②事務事業の一元化に関わる事項

- ・議会議員、農業委員会委員の定数や任期
- ・特別職や一般職の身分の取扱い
- ・一部事務組合の取扱い
- ・公共的団体（第三セクター、地方公社など）の取扱い
- ・地方税の取扱い
- ・使用料、手数料の取扱い
- ・各種事務事業（共通・独自のもの全て）の取扱いなど

③新市建設計画に係る事項

- ・新しい市の総合計画や実施計画など（旧市町村で立てられた計画の再構築）

合併協議会では、市町村合併の協議項目について、県内でも市町村合併協議会設置についての話題が、新聞などで目立って取り上げられるようになってきています。

合併特例法（第三条第一項）では、市町村合併をしようとする場合、合併に先立って、その合併への参加を検討しているすべての関係市町村により、合併協議会という組織を設けることが義務づけられています。制度上は、あくまでも合併をするべきなのかどうかも含めた、合併に関するあらゆる事柄を協議する組織だと

されていますが、具体的には、どんなことが協議されるのでしょうか。協議には膨大な時間を要するといわれますが、一般的な協議項目は左の例示のとおりです。

大船渡市と三陸町の合併協議会では、四十七の協議項目について調整内容をホームページで公表していました。どの項目も必要不可欠な項目ですが、新市建設計画に係る事項については、より時間をかけた入念な調整が必要と思われる

合併協議会では、市町村合併の協議項目について、県内でも市町村合併協議会設置についての話題が、新聞などで目立って取り上げられるようになってきています。

紫波ネットの合併特集では、岩手県が示した広域行政指針の六市町村の合併パターンをモデルにして考えていますが、今月、この六市町村を対象として、盛岡市が「盛岡都市圏将来ビジョン」を策定しました。（ビジョン案は、九月に新聞でも公表されています）

この将来ビジョンは、合併を想定したものではないとするものの、仮に六市町村で合併協議会が設置された場合、新市建設計画協議の起点になるものと考えられます。

本ビジョンは、A4版で八〇ページを超える内容ですが、紙面の都合上、その一部を紹介します。

盛岡市が考える都市圏の将来イメージ

この将来ビジョンは、二〇二〇年ごろを展望し、六市町村を一体的な都市圏としてとらえて、目指すべき将来像を「潤いと活力にあふれ夢が輝く盛岡自律都市圏」と位置づけています。

また、盛岡市を中心に滝沢村から矢巾町に展開する既存市街地、盛岡駅西口地区と盛岡南地区新市街地を都市圏センターゾーン。これを取り

「盛岡都市圏将来ビジョン」は盛岡市のホームページで閲覧できます。 <http://www.city.morioka.iwate.jp/>

盛岡都市圏のゾーン区分と各市町村の基本的な役割

滝沢村

都市圏センター・
田園居住・
自然涵養ゾーン

- ア. 都市圏センターゾーンの一翼を担う産業・業務センターの形成
- イ. 新しい産業・業務機能の集積に資する職住近接型の居住空間の形成
- ウ. 豊かな自然を活かした森林・文化交流拠点の形成
- エ. 魅力ある高等教育研究拠点の形成

玉山村

田園居住・
自然涵養ゾーン

- ア. 都市圏北部の交流連携拠点の形成
- イ. 持続的発展を続ける中山間地域の振興モデル地区の形成
- ウ. 観光と連携した農業の振興や自然体験による都市圏の体験型観光交流拠点の形成
- エ. 高度技術集積型産業導入拠点の形成

栗石町

田園居住・自然涵養ゾーン

- ア. 集落ぐるみの体験型観光交流拠点の形成
- イ. 水源地域としての自然環境配慮型居住空間の形成
- ウ. 地熱エネルギーなどの活用によるエネルギーの供給拠点の形成
- エ. 通年型・滞在型スポーツ・リゾート拠点の形成

盛岡市

都市圏センター・田園居住・
自然涵養ゾーン

- ア. 産業・業務拠点としての成長センターの形成
- イ. 都市圏最大の人口集積地としての環境調和型都市の形成
- ウ. 北東北の玄関口としての広域的交流拠点の形成
- エ. 消費者志向の農林業が展開される都市型生産活動拠点の形成

紫波町

田園居住・
自然涵養ゾーン

- ア. 循環型地域社会モデルとしての国内外への情報発信拠点の形成
- イ. 農林業振興を牽引する人材育成拠点の形成
- ウ. 地産地消を推進する食糧供給拠点の形成
- エ. 快適な都市近郊居住拠点の形成

矢巾町

都市圏センター・
田園居住・
自然涵養ゾーン

- ア. 広域的な物流機能を活かした産業・業務拠点の形成
- イ. 都市と農村の共存モデル地区の形成
- ウ. 森林資源の活用など市場開拓を先導する拠点の形成
- エ. 快適な都市近郊居住拠点の形成



今年4月2日付の盛岡市長記者会見では計画より5年ほど遅れているという見解を示した盛南開発（盛岡駅西口と盛岡南地区）。会見時点では、完了年度は平成20年代の前半とのことでした。（写真は盛岡駅西口のシンボルとなっているインテリジェントビル・マリオスから見た盛南地区）

機能連携と 六市町村の役割

巻く農業的土地利用が展開される地域（おもに雫石町、玉山村、紫波町）を田園居住ゾーン。六市町村に共通する山間部を自然涵養^{かんよう}ゾーンの三つに分けて、産業・業務、観光・リゾート、教育・研究など各市町村の役割分担を決めている点が特徴です。

盛岡市は、今後の都市圏の基本的な変化は、盛岡駅西口地区、盛岡南地区の開発の進展が契機となり、滝沢

村中央部から矢巾町の中央部にかけての地域で、市町村の枠を越えた産業・業務系機能の連携が進むことが基軸になるとしています。

六市町村の基本的な役割分担は、右の図のとおりで、本町の役割は、「循環型地域社会モデルとしての国内外への情報発信拠点の形成」などとなっています。

*

前述のように、盛岡市はビジョンの中で、盛岡駅西口地区、盛岡南地区の開発の進展を目玉としていることから、仮に六市町村が合併する場合、多額の合併特例債発行が可能となる

などの財政支援があります。しかし、こうした財源は、盛岡駅西口地区、盛岡南地区の開発に集中的・継続的に投資されることになると思われます。

*

また、六市町村が合併した場合、新市の行政区域面積は一、九八四平方キロメートルとなり、日本一の面積を有する市となります。

これだけ広大な行政区域の中で、効率的・効果的な行政を行うことになれば、盛岡都市圏将来ビジョンが、ゾーン区分をして市町村の基本的な役割を求めているように、それぞれの地域特性を重視したまちづくり

ならざるを得ないと考えられます。

合併することで、紫波の地域が、盛岡市の市街地と同様に整備されるとは考えにくいようです。



Q 合併すれば地方交付税が10年間保障されると聞きました。

A 確かに、総務省ホームページの合併相談コーナーでは、「地方交付税は合併後一定の期間、合併しなかった場合と同様に算定し、財源を保障しています」という表現があり、合併前の金額が減額されることなく、一定期間交付されるものと誤解を招く結果となっているようです。

一般に合併によって自治体の規模が大きくなると、職員や議員の削減、施設の重複の解消などによって、地方交付税の基準財政需要額は縮小します。このまま計算されると、新しい市の地方交付税額（基準財政需要額－基準財政収入額）は、著しく減少することになります。このため、合併後10年間は、旧市町村単位で計算することにより、減少を緩和しようとするものです。

地方交付税の額の算定の特例（合併特例法第11条）は、合併しても10年間は、合併以前の市町村の単位で算定を行うという内容であり、合併以前に交付されていた金額をそのまま10年間保障するという規定ではありません。

地方交付税が、国全体の見直しなどにより削減される場合は、合併市町村も合併しない市町村と同様に、その影響を受けて減額されることとなります。

用語解説

合併特例債 市町村建設計画に基づいて行う事業の経費や、合併後の地域振興のための基金の積み立てに要する経費について起こすことができる地方債。通常の地方債よりも充当率を引き上げるなど特別な配慮がされている。期間は合併年度とそれに続く10年度。

まちの話題

恒例・紫波フルーツの里まつり 好天のもとで開催

町内七カ所の産直を会場に紫波フルーツの里まつりが開催されました。当日は、新鮮な果物や野菜、花などが手軽に求められるとあって、町内外から大勢の買い物客などが訪れました。会場では「スタンラリー大抽選会」や楽しい催しものが行われました。恒例となった大もちまき大会では午後2時から



7つの会場で一斉にもちまきかれ、 会場いっぱい歓声が上がるなど、 好天にも恵まれ町の産直は終日に ぎわいました。

7つの会場で一斉にもちまきかれ、会場いっぱい歓声が上がるなど、好天にも恵まれ町の産直は終日にぎわいました。

風流山車の競演 9/6～9/8

今年も志賀理和気神社禮大祭が行われ、上組、下組、一番組、橋本組、四つの山車と威勢のいい御神輿が日詰地区を中心に町内を練り歩きました。日詰商店街には例年以上の人数があり、初秋のひととき、祭り一色で盛り上がっていました。



「平八郎」公開 9/27

日詰郡山駅にある赤レンガで囲まれた「平八郎」が公開されました。ここは伊勢屋平井六右衛門家の十二代目が大正十年に完成させたもので、その願いは時の総理大臣原

すてきな出会いを応援

町青少年広域交流事業実行委員会では昨年に続き、町内や近隣地域の男女の出会いを応援する「胸キュンフェスタ2002」を勤労青少年ホームで開催しました。定員を大きく上回る申し込みの中から、男女四十九人が参加し、自己紹介や会食、ゲーム、フリータイムなどを通じて楽しんだ結果、見事七組のカップルが誕生しました。



9/29

カップル誕生を！と意気込むスタッフ



「もくっと知ろう牛肉のこ」とツアーでしわ牛安全確認

牛肉の流通やBSEへの正しい理解のため、関連施設見学と体験のツアーが実施されました。細川栄子さん（片寄）の牛舎でのブラッシングなどの体験、食肉衛生検査所、いわちくの加工現場の見学な

9/10

どを通じて、流通上のすべての牛にBSE検査が実施され、感染牛は公表、焼却されるという厳しい監視体制を知りました。この後、参加者二十三人はお昼に炭火焼き肉を安心してほおぼっていました。

一週間の国際交流 9/1～9/15

敬を招くことでした。大広間の長押しはアカマツナーメートル、床板はケヤキー三メートルの一枚板を使う大正ロマンただよう豪邸と京都風の園庭は、訪れた郡山大学（日詰公民館主催）参加者の感嘆の声であふれていました。

国際交流を目的とした「国際ワークキャンプ・紫波2002」のため、チエコ、スペインなど海外からの八人とボランティアが町内に滞在しました。各地で農作業体験などを行ったほか、佐比内小学校では三、四年生と韓国G Mandu（英語とDumpling）を作りしました。タマネギやニンジンのみじん切り、形作りには苦労しましたが、全児童と先生たちには大好評で、指導した「Emma」さんも満足げでした。



ごみゼロ作戦 9/12

上平沢小学校ではボランティア委員会の企画で児童全員による「ごみゼロ作戦」が行われました。福祉環境課職員「Reduce、Reuse、Recycle（ゴミを減らす）」、再使用しよう、再生しようを覚えようという説明を聞いた後、班ごとに分かれて通学路のゴミ拾いをするところ、あつこい間に買い物袋いっぱい「ゴミ」が集まりました。



行政改革推進委員を募集

町では、行政改革に対する意見や提言をいただいたり、必要に応じて行政改革の推進についての調査や審議を行ったりする「行政改革推進委員会」の委員を募集します。詳しくは政策経営課にお問い合わせください。

- 募集人員 4人(男女各2人)
- 任期 3年(平成14年11月～平成17年10月)
- 資格 次のすべてに該当する人
 - 1 20歳以上の人
 - 2 町の附属機関などの委員になっていない人

- 3 国、地方公共団体の議員でない人
(紫波町以外の退職者は可)

■問合せ・申込 政策経営課 情報政策室 ☎672-2111
内線324 有線01-8891 ※10月31日(木)までに直接または、郵送(〒028-3390 紫波町役場宛 当日消印有効)



ITサポートセンター 初心者用講座の日程

紫波ネットお知らせ版10月号に掲載した初心者用パソコン講座日程をお知らせします。パソコン操作を習得したい人はふるってご参加ください。

基礎だけ3回	①水曜夜コース	基礎1	基礎2	基礎3	基礎1	基礎2	基礎3	基礎1:電源の入れ方、マウスの使い方 基礎2:文字入力、ホームページ検索 基礎3:文字入力、ゲーム			
	18:00～21:00	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27				
覚える10回	②土曜昼コース	基礎1	基礎2	基礎3	基礎1	基礎2	基礎3				
	14:00～17:00	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30				
覚える10回	③水曜昼コース	基礎1	基礎2	基礎3	ワード(簡単な年賀状)			エクセル		インターネット	
	14:00～17:00	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25
覚える10回	④金曜夜コース	ワード(年賀状裏・表)					エクセル				
	18:00～21:00	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27

■問合せ・申込 ITサポートセンター(Tel/Fax676-6558)

■開館時間 水～土曜13:00～21:00 日曜10:00～18:30 月・火曜は休館日

絵手紙教室の開催

紫波郵便局では、絵手紙教室を開催します。絵手紙の良さ、おもしろさを体験したい人は、ぜひお申し込みください。

- 日時 10月26日(土)、午前10時～(2時間程度)
- 会場 紫波郵便局
- 参加料 無料(先着10人程度)
- 問合せ 紫波郵便局 ☎672-3300

東京で開催 岩手県U・Iターンフェア

県と(財)ふるさといわて定住財団、(社)岩手県農業公社が「岩手県U・Iターンフェア」を開催します。参加企業との個別面談、ハローワークによる就職相談、また、就農情報の提供、相談が行われます。首都圏在住で岩手県への就職を希望する家族や知人がおりましたらお知らせください。

- 日時 10月26日(土)、午後1時～4時(受付終了午後3時30分)
- 会場 六本木ジョブパーク2F「出会いのフロア」(東京都港区六本木3-2-21)
- 対象 岩手県へU・Iターンを希望する社会人や平成15年3月卒業予定の学生、学卒未就職者
- 問合せ (財)ふるさといわて定住財団 ☎019-653-8976 ホームページアドレス <http://www.isop.ne.jp/f-iwate/>

家屋の取り壊し 届け出はお早めに

固定資産税は、毎年1月1日を基準日として課税されます。12月31日までに家屋を取り壊した場合（一部取り壊しを含む）は、翌年度から課税されませんので、お早めに税務課までお届けください。なお、法務局に滅失登記をされた場合は届け出の必要はありません。

■問合せ 税務課資産税係 ☎672-2111 内線137 有線01-8912

先着 50 人に花苗プレゼント ◆ふれあいフェスタ◆

社会福祉協議会が主催する子どもからお年寄りまで楽しめるイベントです。催し物や体験など、さまざまなコーナーがありますので家族そろっておでかけください。

■日時 10月27日(日)、午前11時～午後4時

■場所 盛岡南ショッピングセンター・ナックスホール

■主な内容 ちびっこ金山太鼓(午後1時30分)、キャップハンディ体験、手話、きょうけつ染め、七宝焼、バルーンアートほか

■募集中 ハモネブ大会(午後2時)、親子輪投げ大会(午後2時30分)の参加者を募集しています。

■問合せ・申込 紫波町社会福祉協議会 ☎672-3258 有線01-2105

贈りたい人も、そうでない人も、持ちましょう 「臓器提供意思表示カード」

臓器移植は、あなたのやさしさと思いやりによる臓器提供の意思表示があつてこそ成り立ちます。その意思表示として「脳死後、臓器を提供する」、「心臓が停止した死後、臓器を提供する」、「臓器を提供しない」のいずれかを記入するのが「臓器提供意思表示カード」です。

県内でも約140人の重い腎臓病の皆さんが移植を希望していますが、提供されるのはごくわずかです。ご家族でよく話し合い、カードをよく読んで記載してください。

■カードの入手方法 役場や保健所など ※岩手県のホームページからも入手できます。アドレスは <http://www.pref.iwate.jp/magazin/zouki/>

■問合せ (財)いわて愛の健康づくり財団 ☎622-6773

社会福祉の仕事に関心のある人へ 福祉の職場説明会

社会福祉の仕事に関心のある人や福祉職場への就職を希望している人を対象に「福祉の就職総合フェア2002」が開催されます。福祉の職場や資格のガイダンスを受けられるほかパネル展示、ビデオ上映またコンピューターによる適職診断などさまざまなコーナーが用意されます。個別相談コーナーには中高年離職者専用の窓口も設けられます。

■日時 10月19日(土)、午前11時30分～午後4時

■場所 ホテル東日本

■問合せ・申込 参加希望者は岩手県福祉人材センターへ電話(☎637-4522)、FAX(☎637-9612)またはEメール(hn03000@em.shakyo.wamnet.wam.go.jp)で申込みが必要

岩手大学から 社会人特別選抜学生募集

岩手大学では平成15年4月1日現在の年齢が満23歳以上の人で社会人経験(主婦、家業従事者含む)のある人を対象に、次の社会人特別選抜の入学試験を行います。受験資格や出願書類についてはご確認のうえ、お申し込みください。

■出願方法 大学指定の出願書類を速達書留か平日の午前9時～午後4時に持参

■受付期間 11月1日(金)～7日(木)

■選抜日程 11月16日(土)

■問合せ 岩手大学学生部入試課入学試験係 ☎621-6064

■募集する学部・課程・選抜方法など

学部	課程	コース	選抜方法
教育学部	生涯教育課程	生涯教育コース	小論文、面接ほか
		造形コース(美術)	持参論文か持参作品、面接ほか
	芸術文化課程	音楽コース	実技検査(歌唱、楽器演奏など)、面接ほか

歯と口は大丈夫？ イイ歯デーテレホン相談

岩手県保険医協会歯科部会では、県民の歯や口に関する悩みや相談を電話で受け付ける「イイ歯デーテレホン相談」を実施します。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

- 日時 11月8日(金)、午前10時～午後8時
- 受付内容 歯の生え方の悩み、入れ歯や口臭に関する相談など、歯や口の悩みについて
- 回答方法 事務局担当者が電話で質問を受け付け、午後7時から歯科医師が電話でお答えします
- 相談先 岩手県保険医協会イイ歯デーテレホン相談係 ☎651-7341

ひとりで悩まないで 少年相談コーナー

悩みをうち明けられずに困っている学生や、子どもの非行や犯罪被害などの悩みを抱えている保護者の皆さんの相談をうかがいます。相談員は紫波警察署職員と少年サポートセンター専門職員です。事前の申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。



- 日時 10月17日(木)、午前10時～午後4時
- 場所 総合福祉センター
- 問合せ 紫波警察署 ☎671-0110

大規模な土地取引には、 届け出が必要です

大規模な土地について、売買などの取引をした場合は、契約締結後2週間以内に、買主は土地の利用目的や取引価格などを届け出をすることが義務づけられています。大規模な土地とは次のとおりです。

- 都市計画区域 5,000 m² 以上
- 都市計画区域以外の区域 10,000 m² 以上

- 届出先・問合せ 政策経営課政策調整室 ☎672-2111内線323 有線01-8891

お産を楽しく考える いいお産の日 in いわて

県看護協会助産師職能委員会では、だれでも参加できる「いいお産の日 in いわて」を開催します。午後1時から、県立千厩病院の小笠原敏浩副院長による講演「いいお産を考える」が、また午後2時から各種イベントが行われます。入場は無料です。

- 日時 11月3日(日)、午後1時～4時
- 場所 盛岡市プラザおでっ(盛岡女性センター)
- イベント内容 ◇体験コーナー(抱っこ、お風呂、おむつ替えなどなどの子育てミニ体験ほか) ◇相談コーナー ◇先輩ママと話そうコーナー ◇ベビーマッサージほか
- 申込・問合せ 岩手県看護協会 ☎662-8213

10月生募集キッズダンス講座 みんなで楽しく遊ぼう

リズム体操、柔軟を主とした子ども向けのダンス講座です。友だちづくりもできますので、気軽に参加してください。

- 日時 毎週土曜日、午前10時～(1時間程度)
- 場所 赤石公民館(会費として1回300円)
- 対象 幼児～小学生低学年コースと小学生高学年～中学生コースの2コース
- 問合せ 高橋厚子さん ☎672-1280

住宅金融公庫から台風 被害を受けた皆さんへ

住宅金融公庫では台風6号の災害により被害を受けた皆さんに対し災害復興住宅融資の受付を、また返済中の皆さんについてはご相談を受けています。

また住宅金融公庫の住宅ローンを返済中で、不況に伴う失業や収入の減少などで返済に困っている人に対しては次のような返済方法の変更を実施しています。

- ①返済期間の延長(最長10年)
- ②元金据置期間の設定(最長3年)
- ③元金据置期間中の金利引き下げ

- 取扱期間 平成15年3月末
- 問合せ 住宅金融公庫東北支店 ☎022-227-5003か返済中の金融機関へ

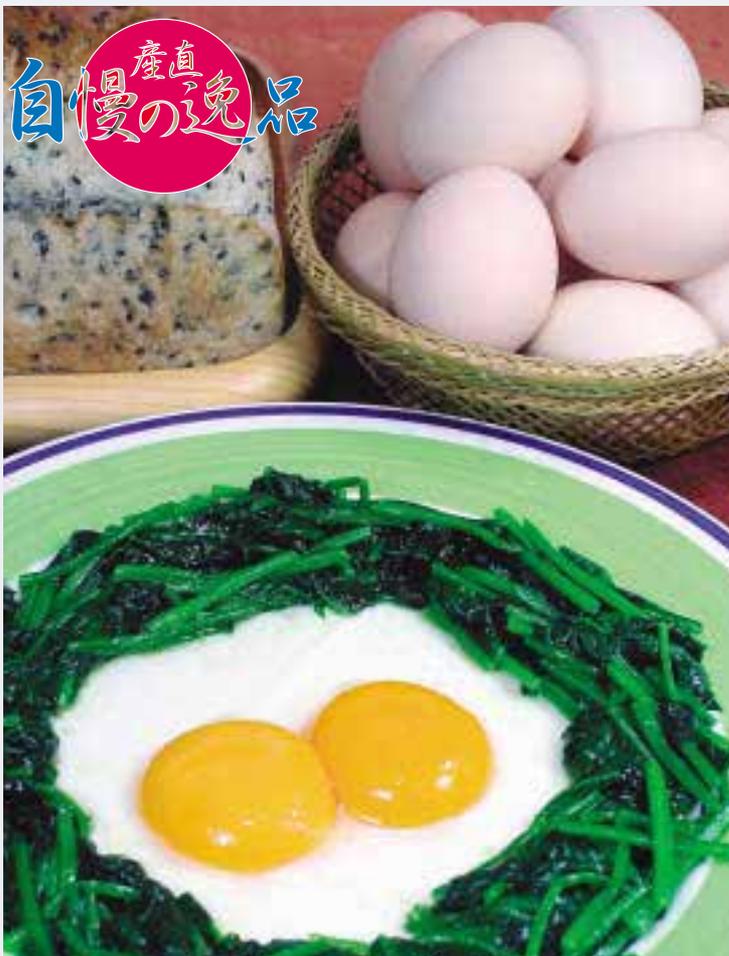
役場総務課からお詫び

7月の台風の際に回線の都合で役場への電話がつながりにくくなり、利用者の皆様にご迷惑をお掛けしました。謹んでお詫び申し上げますとともに、今後速やかな対応ができるよう改善に努めてまいります。

あづまね産直センター

安全・安心で体にやさしい
いわて わかどり 地養卵

ラ・フランス温泉館近くのおづまね産直センターで人気が「いわて地養卵」と名付けられた浅沼直克さんの卵です。「ワトリは純国産に限定しています。飼料は『NON-GMO』というトウモロコシや大豆が主など非遺伝子組み換え・ポストハーベストフリーのもので、さらに木酢やヨモギ、海藻も与えている安全・安心な卵です」。生臭さがなく生卵で食べるのがもつともおいしいというこの卵は、生協にも納められています。「黄身の色でおいしさが分かるという人もいます。与える飼料で色を変えられるので参考にはなりません。黄身とその周りの白身の盛り上がりしているものが新鮮なんです。」。浅沼さんが毎朝食べるという目玉焼きをいたたくと、甘やっぱいの濃厚な黄身が口いっぱいに広がりました。



産直で見つけたホウレンソウで巣ごもり風目玉焼きに。若鶏が生む M サイズは「わかどり卵」、2L サイズは「びっくり卵」として販売されています。



【あづまね産直センター】
上松本字内方117
有線02-39907
午前9時～午後6時
土・日営業



7色のお花紙を丸めたり、ちぎったりしてかわいい作品ができました。ふだんは外で鬼ごっこをするのが大好きです。

紙粘土で作り、絵の具で色をぬりました。しっぽをささえにして立っています。目を付けるのがむずかしかったかな。



【作品名】
おどるワニ
村上賢優くん (4年)

キッズ
ギャラリー
古館小学校